

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 令和元年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：・生涯を通じた歯科健診・保健事業 ・咀嚼の効用に関連したテーマに関する事業</p>
<p>2. 申請者名：公益社団法人東京都向島歯科医師会</p>
<p>3. 実施組織：公益社団法人東京都向島歯科医師会 高齢者支援総合センター</p>
<p>4. 事業の概要： 向島歯科医師会（本会）は、公衆衛生事業として担当地域の 4 つの高齢者支援総合センターに通所する高齢者に対して、口腔ケア講習会を開催した。本会単独でなく多職種が連携しての事業であり、オーラルフレイルの説明、予防、対策までの指導を行うことで、知識の啓蒙と普及を目指す。</p>
<p>5. 事業の内容： 高齢者支援総合センターへの通所者にアンケートをおこない、「最近、食べにくい・飲み込みにくい・むせる」ことが気になる人に講習会参加を募った(20~30 名/1 会場)。参加者を 4, 5 人のグループに分け、歯科医師が口腔機能低下症についてスライド、パネルで説明を行い、オーラルフレイル予防運動（パタカラ体操）をセンター職員、民間団体スタッフが実演指導した。製造メーカー社員により、食べやすい食器、とろみ食材が紹介され体験してもらった。パイロットスタディーとして舌圧測定器を用いて最大舌圧を測定し、飲み込みにくさの症状と測定値の比較検討した。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）： 今回、準備できた測定機器が 1 台のみであった為、1 グループしか測定できなかった。1 人の検査時間に 4 分弱かかるため、参加者全員の測定を行う為には、あと 3、4 台の準備が必要である。舌圧測定ということが一般的に認知されていない状況であったが参加者の関心度は高く、なにより日々、オーラルフレイル予防運動を直接指導している高齢者支援総合センターのスタッフからは、センターへ機器導入を強く希望された。今後、本会では歯科医師会員に舌圧測定器の使い方、測定数値の解釈を指導して、定期的に高齢者支援総合センターに出張して測定を行うことで、オーラルフレイルの啓蒙と予防運動の意義を地域医療に普及してゆきたい</p>